

OSSの最新の動向と 企業におけるOSSガバナンス

株式会社オージス総研
グローバルビジネスサービス部

OSS最新動向

OSSガバナンスの実際

OSS最新動向

OSSガバナンスの実際

- ApacheCon NA 2013 Portland
- February 26-28
- ASF(Apache Software Foundation 1999～)
メンバーやコミッター向けのカンファレンス

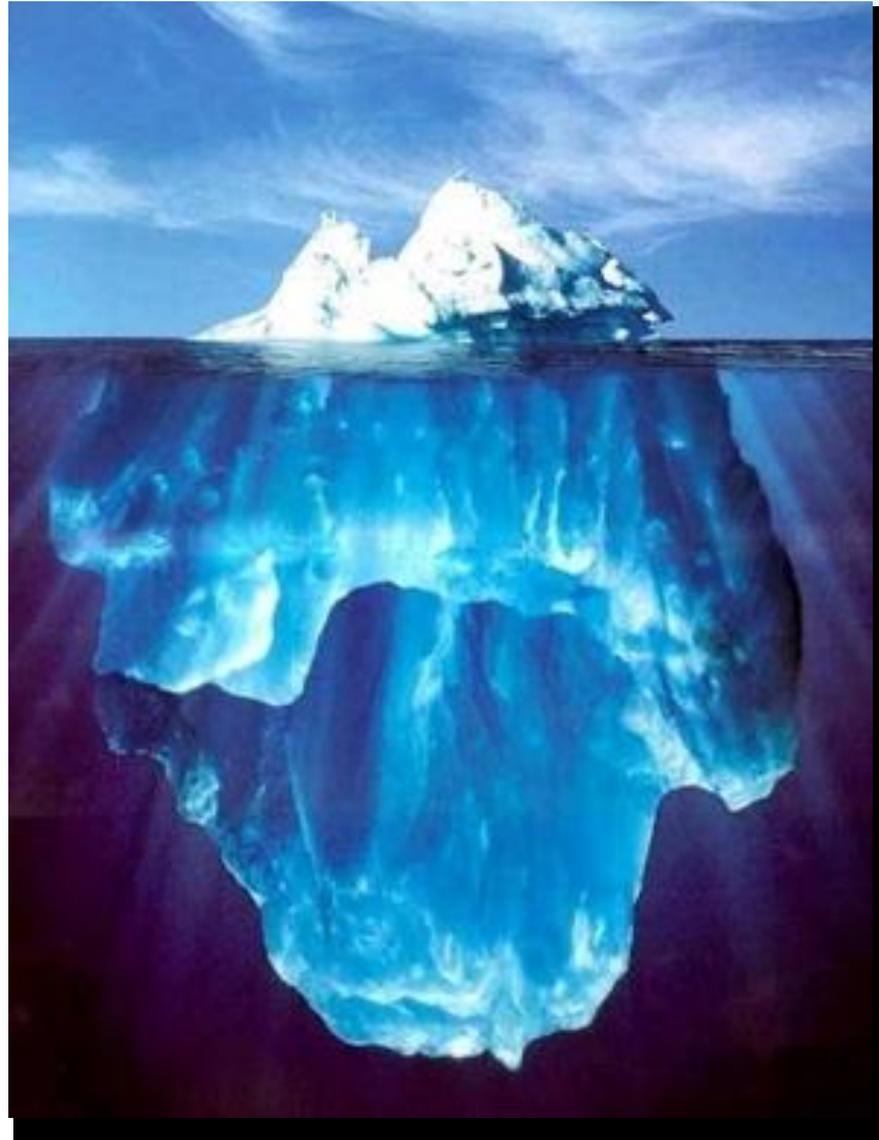


- ASF においては強いライセンス(GPLなど)でなくてもOSSの生態系を維持できる仕組みがある
- Web関連のOSSではコミュニティ側もユーザ側も弱いライセンスを求めているケースもある
- とはいえGPLは全体の約60%で、今後も高い割合を維持することが予想される
 - ライセンスが更に淘汰される可能性

- GitHubの普及により、不明なライセンスの「OSS」が大量に出現
- クラウドの普及とそれに対するAGPLの適用
- Q&Aサイトでのライセンス問題
 - CodeProject
 - StackOverflow

OSS最新動向

OSSガバナンスの実際



- 品質保証部が主導
- プロジェクトごとにポリシーを決定
- 製品受け入れ(納品)検査時に実施
- Permissive なライセンス

■ポリシーの策定

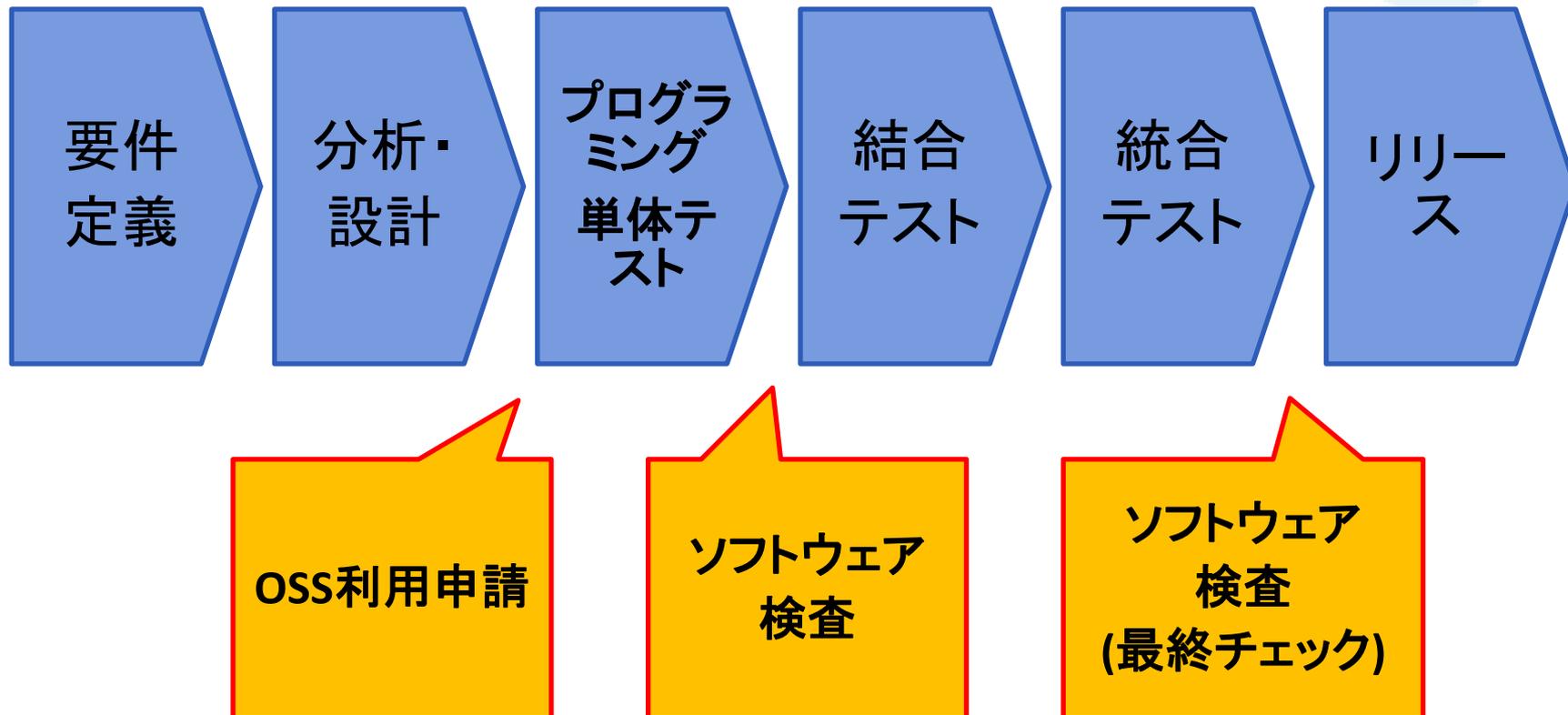
- OSSの利用の仕方と、どこまでソフトウェアを配布するかによって決定

■ソフトウェアの検査

- 利用しているOSSとそのライセンスの特定

■ライセンス条件の遵守

- OSSライセンスの利用条件を把握



- 会社の文化を変える。教育、啓蒙活動
- ソフトウェアの中身を可視化すること。
正確なBOMを作ること
- ライセンスと使い方のメトリックスを作る



米国の取り組みも日本と同じ！



Thank you

Questions ?